

研究プロジェクト「交渉学の可能性－新しい世界の関係構築と紛争の予防のために」
Research Project: The Possibilities of the Research on Negotiation

実施期間： 2010～2012年度（第1年次）

Term of the Project: 2010-2012 fiscal years (1st year)

研究代表者： 松岡 博 国際高等研究所フェロー／大阪大学名誉教授
／帝塚山大学法政策学部教授

Project Leader: Dr. Hiroshi MATSUOKA,
IIAS Fellow; Project Representative on the IIAS Planning Board;
Professor Emeritus, Osaka University;
Professor, Faculty of Law and Policy, Tezukayama University

研究目的要旨：

本研究は、交渉学が新しい世界を構築し、紛争を予防、解決するために、何をなし得るかを明らかにすることを目的とする。本研究は、また、その目的を達成するための新しい交渉理論・交渉方法を提案する基礎的な原理をも明らかにしようとするものである

本研究により、力ではなく、対話と説得による交渉を中心とする新しい世界を構築すること、そして世界と人類が直面する様々な困難な課題を解決する新しい交渉学の可能性（芽）を切り拓くことができる。このような交渉学の研究は、話し合いの伝統と平和的な紛争を国是とする日本から、平等互惠を基礎とした平和で豊かな新しい世界を構築することのできる、新しい交渉理論の提案に向けた基礎的原理を明らかにする試みであって、日本が学術の世界でなしうる貢献であると考えられる。

研究目的：

①背景：

現代社会では、価値観の多様化、経済格差の拡大などの様々な要因のために、国際的にも国内的にも紛争・摩擦・対立が頻発している。このような紛争・摩擦・対立を力によって解決するのではなく、対話と説得による交渉により、合意を形成し、平和的に解決すること、そのための学術（交渉学）の発展が強く求められている。

本研究は、交渉学が新しい世界を構築し、紛争を予防、解決するために、何をなし得るかを明らかにすることを目的とし、その目的を達成するための新しい交渉理論・交渉方法を提案する基礎的な原理をも明らかにしようとするものである

②必要性：

本研究により、力ではなく、対話と説得による交渉を中心とする新しい世界を構築すること、そして世界と人類が直面する様々な困難な課題を解決する新しい交渉学の可能性（芽）を切り拓くことができる。このような交渉学の研究は、話し合いの伝統と平和的な紛争を国是とする日本から、平等互惠を基礎とした平和で豊かな新しい世界を構築することのできる、新しい交渉理論の提案に向けた基礎的原理を明らかにする試みであって、日本が学術の世界でなしうる貢献であると考えられる。

③方針：

・交渉学の現状分析 まず、交渉学の現状分析を行う。交渉学はどのように発展してきたか。その課題は何か。どのような方向に向かおうとしているのかを明らかにする。

その際、交渉のつぎのような点についても明らかにしたい。人と人との関係、国家と国家との関係を結ぶのも交渉である／自由社会での経済活動や市場も交渉から成り立つ／交渉によって新しい取引や関係が構築される／話し合いの伝統と平和的な紛争を国是とする日本から平等互惠を基礎とした平

和で豊かな新しい世界を構築することのできる新しい交渉理論の可能性（芽）が存在すること／などである。

・交渉理論の研究 つぎに現在、有力に提唱されている交渉理論を、主として対立競争型か問題解決型かという視点から取り上げ、その特徴、意義、実践性などについての評価、検討をおこなう。その際、特にハーバード・ロー・スクールのハーバード交渉学研究所で開発された「原則立脚型（利害分析型）交渉法」、さらに最近の「情を利用する」理論にも考慮を払いた

・理論と実践の融合 交渉は、外交交渉、ビジネス交渉、労使交渉、家族間交渉、裁判と交渉、ADRと交渉、立法と交渉など様々な形態をとり、また用いられる場面も様々である。理論としての交渉学は、一般論としての普遍性をもつとともに、それぞれの交渉形態に柔軟に対応できるものであることが必要である。そして何よりも実際の交渉でうまく機能するものでなければならない。この点を明らかにしたい。

・諸学の総合としての交渉学の可能性 交渉学は総合的な学である。法学、政策学、経営学、心理学、社会学、論理学、コミュニケーション論などの様々な学問の知見を総合的に取り入れる必要がある。それをどのように行うべきかを検討したい。

・交渉教育・研修と人材養成の重要性 交渉力を高めるにはどうすればよいか。経験によって学ぶことはできるが、系統的な学習も必要である。効果的な交渉教育、人材養成のあり方について検討したい。

Objectives:

The main objective of this research project is to clarify what the research on Negotiation can contribute to construct a new world order, and to prevent and resolve various kind of controvercies successfully. In order to achive the oblective, the research project aims to propose fundamental principles of new theory and practice of negotiation.

キーワード： 交渉学、学際的研究、理論・実践の融合

Key Word: Negotiation, Interdisciplinary Research, Fusion of Theoy and Practice

参加研究者リスト： 14名（◎研究代表者、□幹事）

氏名	職名等
◎松岡 博	国際高等研究所フェロー／帝塚山大学法政策学部教授／大阪大学名誉教授
D.M.アラカキ	大阪学院大学経営学部教授
大澤 恒夫	桐蔭横浜大学法科大学院教授
太田 勝造	東京大学大学院法学政治学研究科教授
柏木 昇	中央大学法科大学院教授
金 美善	大阪大学大学院工学研究科特任助教
□高杉 直	同志社大学法学部教授
田中 成明	国際高等研究所副所長
□野村 美明	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
服部 高宏	国際高等研究所企画委員／京都大学大学院法学研究科教授
平井 啓	大阪大学コミュニケーションデザイン・センター助教
平井 亮輔	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授
ダニエル・H・フット	国際高等研究所企画委員／東京大学大学院法学政治学研究科教授
森下 哲朗	上智大学法学研究科教授
吉川 英一郎	同志社大学商学部准教授

2010年度研究活動予定：

①研究会開催予定：

幹事会：年2回（於 高等研と帝塚山大学大阪サテライト）

研究会：年3回 第1回6月頃（於 高等研）1泊2日
第2回11月頃（於 高等研）1泊2日
第3回2月頃（於 高等研）1泊2日

②話題提供予定者：

研究成果報告書の出版：

担当：田中副所長

国際高等研究所
研究プロジェクト「交渉学の可能性—新しい世界の関係構築と紛争の予防のために」
2010年度第1回研究会 プログラム

開催日時：2010年 7月2日（金） 14：00～17：00
7月3日（土） 10：00～12：00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）

研究代表者：松岡 博 国際高等研究所フェロー
帝塚山大学法政策学部教授／大阪大学名誉教授

担当所長・副所長：田中 成明 副所長

出定者：（11人）

研究代表者 松岡 博 国際高等研究所フェロー
帝塚山大学法政策学部教授／大阪大学名誉教授

参加研究者 D.M.アラカキ 大阪学院大学経営学部教授
（9人） 大澤 恒夫 横浜桐蔭大学法科大学院教授

柏木 昇 中央大学法科大学院教授

金 美善 大阪大学大学院工学研究科特任助教

高杉 直 同志社大学法学部教授

田中 成明 国際高等研究所副所長

** 野村 美明 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

ダニエル・H・フット

国際高等研究所企画委員／東京大学大学院法学政治学研究科教授

吉川 英一郎 大阪学院大学大学院法務研究科教授

**：スピーカー

話題提供者 西川 善文 株式会社三井住友銀行顧問

（ゲストスピーカー）

（1人）

プログラム

7月2日（金）

14：00 松岡博：研究プロジェクトの目的・趣旨・研究方法・計画など

15：00～17：30 話題提供者：野村 美明 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

演題「交渉とディベートと対話

—理論と実践の循環をめざして」

7月3日（土）

10：00～12：00 話題提供者：西川 善文 株式会社三井住友銀行顧問

演題「難しい交渉を成功させるには」

配布資料

- ・ 野村 美明「交渉とディベートと対話—理論と実践の循環をめざして」

国際高等研究所
研究プロジェクト「交渉学の可能性—新しい世界の関係構築と紛争の予防のために」
2010年度第2回研究会 プログラム

開催日時：2010年 11月26日（金） 14：00～17：40
11月27日（土） 10：00～12：00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）

研究代表者：松岡 博 国際高等研究所フェロー
帝塚山大学法政策学部教授／大阪大学名誉教授

担当所長・副所長：田中 成明 副所長

出席者：（12人）

研究代表者 松岡 博 国際高等研究所フェロー
帝塚山大学法政策学部教授／大阪大学名誉教授

参加研究者 D.M.アラカキ 大阪学院大学経営学部教授
（10人） 大澤 恒夫 横浜桐蔭大学法科大学院教授
金 美善 大阪大学大学院工学研究科特任助教
高杉 直 同志社大学法学部教授
田中 成明 国際高等研究所副所長
野村 美明 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
平井 啓 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター助教

** ダニエル・H・フット
国際高等研究所企画委員／東京大学大学院法学政治学研究科教授

吉川 英一郎 同志社大学商学部准教授

岩田 一明 国際高等研究所フェロー／大阪大学・神戸大学名誉教授

**：スピーカー

話題提供者 藪中 三十二 外務省 顧問（前外務省事務次官）
（ゲストスピーカー）
（1人）

プログラム

11月26日（金）【国際高等研究所 セミナー1】

14：00 話題提供者： 藪中 三十二 外務省顧問（前外務省事務次官）
演題「外交交渉の要諦」・質疑応答

16：30 今後の予定について協議（次回研究会、国際シンポジウムの計画等）

17：40 終了

けいはんなプラザホテルへ移動

18：00 懇親会

11月27日（土）【国際高等研究所 セミナー1】

10：00 話題提供者： ダニエル・H・フット 国際高等研究所企画委員／東京大学大学院
法学政治学研究科教授

演題「アメリカのロースクール教育における交渉教育の位置づけ
およびハーバード・ロースクールのカリキュラム改革」

12：00 終了

国際高等研究所
研究プロジェクト「交渉学の可能性—新しい世界の関係構築と紛争の予防のために」
2010年度第1回幹事会 プログラム

開催日時：2010年12月24日（金） 13：00～16：00

開催場所：国際高等研究所セミナー2（2F）

研究代表者：松岡 博 国際高等研究所フェロー
帝塚山大学法政策学部教授／大阪大学名誉教授

担当所長・副所長：田中 成明 副所長

出席者：（3人）

研究代表者 松岡 博 国際高等研究所フェロー
帝塚山大学法政策学部教授／大阪大学名誉教授

参加研究者 高杉 直 同志社大学法学部教授

（2人） 野村 美明 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

プログラム

12月24日（金）【国際高等研究所 セミナー2】

13：00 今後の予定について協議

1. 2月25日・26日の研究会について
2. 来年度の計画について

16：00 終了